石川県立音楽堂

オルガン リニューアル 記念

石川県立音楽堂

オルガン 3days

オルガン改修を経て いよいよ リニューアルオープン!!!

待ちに待った3日間! 新たなオルガンの響きをご堪能ください。
解説講座&ワークショップも開催!!
ゲスト奏者には初登場となるディヴィッド・ハースト氏を迎えて、
地元で活躍する黒瀬 恵さんと共に演奏します。
皆さまのご来場をお待ちしております。

1day

2026 3/14 SAT 土

14:00開演

■入場料(全席指定)
一般:3,000円
学生:1,500円
(高校生以下)

未就学児 入場不可

ディヴィッド・ハースト オルガン・リサイタル

J.S.バッハ
トッカータとフーガ ニ短調 BWV565

エルガー
ニムロッド(エニグマ変奏曲より)

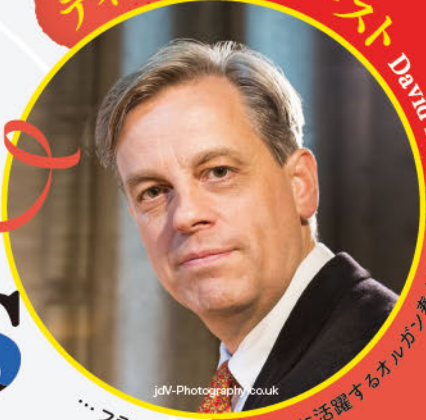
ドビュッシー
月の光(ベルガマスク組曲より)

ヴィエルヌ
ウェストミンスターの鐘

ヴィドール
オルガン交響曲第5番 ヘ短調 Op.42, No.1

他

ディヴィッド・ハースト David Hirst



…フランス、イギリスを拠点に活躍するオルガン奏者…

黒瀬 恵 Megumi Kurose

…金沢を拠点に活躍するオルガン奏者…

2day

2026 3/15 SUN 日

❶ 10:30-11:30
❷ 13:00-14:00
❸ 14:30-15:30

参加費:500円
(当日受付にてお支払いください)

オルガン解説講座・ワークショップ

リニューアルしたオルガンの中をのぞいてみよう!
オルガンの仕組みについて解説、送風機室見学、アシスタント&演奏体験もあります。

お申込みはこちら

◆1回の定員:20名
◆お申込み:2/2(月)〜2/20(金)17:00まで
※定員になり次第、受付終了させていただきます。

3day

2026 3/16 MON 月

12:15-13:15

入場料:500円
(自由席)

3才から 入場可

ランチタイムコンサート

オルガンの響きを気軽に楽しむワンコインコンサート

※スクリーンでオルガン演奏の手元足元を映し出してよりわかりやすくご紹介!

◆テーマ「Spring」

バッハ
主よ、人の望みの喜びよ

酒井多賀志
「さくらさくら」の主題による幻想曲 Op.58

ベートーヴェン
からくり時計のためのアダージョ ヘ長調 WoO33, No.1(連弾)

ブラームス
ハンガリー舞曲第5番 嬰ヘ短調 WoO1(連弾) 他

◆オルガン:ディヴィッド・ハースト、黒瀬 恵

◆チケットお申し込み

石川県立音楽堂チケットボックス
TEL:076-232-8632
●窓口 9:00-19:00
●電話 10:00-18:00
●休館日2/24

●チケットぴあ(Pコード:318-470)
●ローソンチケット(Lコード:51634)
●セブンチケット(セブンコード:113-992)
●teket(テケト)

teketはこちら

主催:公益財団法人石川県音楽文化振興事業団 後援:北國新聞社
助成:文化庁 文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

オルガンリニューアル記念

石川県立音楽堂
オルガン3days

2026 3/14 SAT (土) 15 SUN (日) 16 MON (月)

石川県立音楽堂 コンサートホールのオルガン

19世紀半ば以降にドイツ圏のコンサートホールに設置されるようになった、ドイツ・ロマンティック・タイプのオルガン。ソロではバッハ以降のドイツ作品はもとより、フランス作品の演奏時にもその力を充分に発揮するほか、明快かつ重厚な響きでオーケストラと共に演奏するのに最適な特徴を持っています。デザインは、日本古来の伝統であるひろげた扇子の形状を、ホールデザインとの一体感に配慮してモティーフとしました。
演奏台の各所には、石川県の伝統工芸である輪島塗が採り入れられており、扉には日本古来の桜と楓(紅葉)の図柄が描かれています。

- ■ 製作:カール・シュッケ社(ドイツ・ベルリン)
- ■ 鍵盤:4段手鍵盤、足鍵盤
- ■ ストップ数:69
- ■ パイプ数:5143本

PROFILE

オルガン
ディヴィッド・ハースト
David Hirst

英国出身のオルガニスト、ディヴィッド・ハーストは、演奏家としての国際的な活動に加え、楽器そのものへの深い理解と洞察を併せ持つ、現代オルガン界における稀有な存在である。現在はパリ近郊を拠点に、12世紀建立のノートルダム・コレジアル教会(マント・ラ・ジョリ市)の主任オルガニストを務め、同教会に設置された3台のオルガンの芸術的・音楽的責任を担っている。また、同市で開催される国際オルガンフェスティバルの音楽監督として、その企画と芸術的方向性を主導している。
これまでに、ウェストミンスター寺院、セント・ポール大聖堂(ロンドン)、ヴェルサイユ大聖堂、シャルトル大聖堂、アントワープ大聖堂、サン＝トゥアン修道院(ルーアン)、マインツ大聖堂など、ヨーロッパを代表する歴史的会場で演奏を行ってきた。米国では、ニューヨークのセント・パトリック大聖堂をはじめ、世界最大のオルガンを擁するアトランティック・シティのボードウォーク・ホールなど、大規模空間での公演も重ねており、宗教的空間から純粋なコンサートホールに至るまで、幅広い音響環境において高い評価を得ている。今後ノートルダム大聖堂(パリ)をはじめ、欧米の主要都市での演奏活動が続いている。
英国ケンブリッジ大学で音楽を学び、ロンドン王立音楽院で研鑽を積んだ後、ロンドンの王室教区セント・マーティン・イン・ザ・フィールズ教会のオルガニストを長年務めた。同教会では、王室および国際的な公式行事での演奏に加え、BBCによる生放送を含む放送演奏を数多く担当した。オルガン奏法は、リオネル・ロッグ氏、トーマス・トロッター氏、ニコラス・キナストン氏といった、国際的に高く評価されるオルガニストに師事した。
録音活動においては、マント・ラ・ジョリ市に現存し歴史的建造物として指定される、1897年製ジョゼフ・メルクラン社製グランド・オルガンによる世界初録音を含むCDを発表。2022年にPriory社よりリリースされた同録音は、音楽専門誌において高い評価を受けた。
さらにハーストは、英国最大かつ最も権威あるオルガン製作会社ハリソン・アンド・ハリソン社において、副社長および社長を歴任。演奏家としての視点を基盤に、オルガンの修復・新設、音色設計(ボイシング)、芸術的評価に関わり、ウェストミンスター寺院、キングズ・カレッジ(ケンブリッジ)、ロンドンのロイヤル・フェスティバル・ホールなど、英国を代表する楽器と深く関わってきた。この経験は、楽器と空間、音楽表現の関係を総合的に捉える彼の演奏解釈にも色濃く反映されている。
また、6年間にわたり日本に居住・就労し、日本政府認定日本語能力試験1級を取得するなど、日本との関係も極めて深い。国際的な視野と現場に根差した実践的経験を併せ持つ音楽家として、今日のオルガン文化を多角的に体現している。

オルガン
黒瀬　恵
Megumi Kurose

金沢市出身。武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。2003年ザルツブルクへ留学。宗教音楽、モーツァルトのオルガン作品を中心に学ぶ。在学中より国内・ヨーロッパ・韓国でのオルガン講習会で研鑽を積む。現在金沢を拠点とし、石川県立音楽堂をはじめ国内のホールや教会のオルガンコンサートに多数出演。また、オーケストラ・アンサンブル金沢との共演等で活躍の傍ら、教育プログラムを企画し、後進の指導も行う。2005年と2006年にはザルツブルク国際オルガンコンサートより招聘され、フランツィスカーナー教会でリサイタルを行う。また、室内楽奏者、通奏低音奏者としてオルガン・チェンバロでも出演している。オルガンを谷内江潤子、ゴットフリート・ホルツァー、ベルンハルト・グフレラーの各氏に師事。オルガンと通奏低音を志村拓生氏に師事。日本基督教団金沢教会オルガニスト。日本オルガニスト協会会員。日本リードオルガン協会会員。令和6年度金沢市文化活動賞受賞。